

第6章 チャレンジ・プロジェクト

ここでは、本市の産業振興において、今後、関係者が協力して取り組む6つのプロジェクトを「チャレンジ・プロジェクト」として位置づけます。

1 産業都市プロモーションプロジェクト

趣旨

素材から部品、最終製品まで、本市で製造されているモノやサービス、そしてそれらを生み出す職人や高度な研究開発を行う研究者、ユニークな店主などに光を当て、市内外に高槻の産業の魅力を発信することによって、市の知名度の向上と販売促進を図ります。

市内に立地している製造業は「研究開発」の機能を有する比率が高く、京都から神戸にかけて集積する大学や企業からのアクセスも容易であるという地理的条件を活かし、その特色をアピールしていきます。

また、市民に対しても、高槻で生まれた製品や商品の魅力を周知し消費の拡大を図るとともに、地元企業への愛着と理解を高める取組を進めます。

主要な取組

(1) 市外への積極的な「営業活動」の展開

交通の利便性、36万人の人口、豊かな自然、充実した住環境など、ビジネスを興す好条件が揃った本市の魅力を市外へと積極的にPRし、本市への事業所、人材の誘致を図ります。本市に立地する著名な企業や大学等のネームバリューを活かしつつ、「産業都市」としての知名度を高める営業活動を積極的に行い、商業・サービス業、観光、工業などあらゆる分野においてプロモーションの底上げを図ります。

(2) 「地元の製品やサービス」の発掘と発信

本市で製造されているモノやサービス、それらを生み出す職人やユニークな店主などを集めて「高槻の意外な一面」を発信するプロモーション活動を実施し、高槻発の話題として市内外に広く展開します。また、マスメディアへの積極的な情報提供により事業者の販売促進を支援するとともに、プロモーション活動を通じ地元企業との関係を強化します。

(3) 学校教育における地元産業の学習推進

本市で製造されているモノやサービスを学校教育の場で取り上げることで、市内小中学校に周知を図ります。次世代の産業の担い手あるいは消費者となる児童や生徒に対し、工業の現場見学や取材を通じて地元企業を知る機会を提供し、地元企業への関心を高めます。

(4) 海外マーケット進出の促進支援

国や府、経済団体などのセミナーや相談事業を活用しながら、市内企業の海外マーケット進出に関する情報提供や学習機会を提供します。また、本市の姉妹友好都市であるマニラ市（フィリピン）、常州市（中華人民共和国）、トゥーンバ市（オーストラリア）との関係をビジネスにおいても活用し、市内企業の海外マーケットへの進出を促進します。

2 商業にぎわいまちづくりプロジェクト

趣旨

市の玄関口であり、多くの店舗が立地する中心市街地においては、そのマネジメント機能を確認し、持続的な魅力向上に取り組むことで、にぎわいの創出、商業集積地としての価値向上を図ります。

また、既存の商業団体を対象とする商業活性化支援に加えて、にぎわいの創出につながる新たな取組に対し支援を行っていきます。

地域商業においては、魅力ある店舗の出店を促進し、商店街の集客力の向上を図るとともに、新たな活性化の担い手の創出に取り組みます。

主要な取組

(1) 中心市街地におけるマネジメント機能の確立

中心市街地の魅力を持続的に高め、エリアの価値向上を図っていくための「マネジメント機能」の確立を目指します。

地権者を中心として、路上の不法駐輪など、まちの様々な課題の解決を図っていくことで、安全で快適かつ魅力ある中心市街地のまちづくりを進めます。

(2) にぎわいの創出につながる新たな取組に対する活動支援

高槻発の話題づくりや特定のテーマに基づく活動など、にぎわいの創出につながる新たな取組に対し支援を行います。民間事業者の創意工夫やノウハウを活かして、集客へとつながるアイデアを持った意欲あるグループへの活動支援に努めます。

他市の成功事例のノウハウの活用や多様な主体とのネットワークの形成により、実効性を伴う事業の創出を目指します。またマスメディアへの効果的な情報発信を行うことで、市内外からの来訪者の増加、ひいては商業集積地のにぎわい創出へと繋げていきます。

(3) 魅力ある個店への出店支援

商店街の集客力の源となる「魅力ある店舗」の出店を支援します。集客力のある新たな店舗の出店により、周辺地域の通行量の増加を図り、商店街の活性化を目指します。

出店後の事業活動に対しては、安定的かつ継続的に事業が行われるよう、商工会議所等との連携を図りながらPRや経営面のサポートの充実に努めます。

こうした魅力ある店舗の出店情報を、テレビや雑誌等のマスメディアへ積極的に発信することにより、市外からの来訪者の増加へと繋げ、更には本市のイメージアップと知名度の向上を図ります。

3 起業家育成・経営力強化プロジェクト

趣旨

起業意欲を持つ人を対象に、起業にチャレンジできる環境を整え、新たな店舗や事業者の創出を促進します。

「起業」については、36万人の市民が生活する「生活・文化都市」としての特長を活かし、例えば主婦や定年退職者など「在宅層」の起業支援、あるいは、少子高齢化、環境、教育、コミュニティなど様々な社会的課題の解決を重視する、いわゆる「ソーシャルビジネス」等の起業についても支援を行います。

また、既存事業者の経営力向上に向けた支援を行い、企業活動の継続と更なる成長を促します。

主要な取組

(1) 起業家育成の推進

起業しようとする意欲を持つ人に対し、起業に向けた意欲向上や、事業計画立案など必要な知識の習得に資するセミナーの開催、事業所内部での就業体験機会の提供、インセンティブとなる資金援助等を行い、新たな店舗や事業者の創出を促進します。

また、女性や高齢者、若者、学生による起業、社会的課題の解決を図るための事業（ソーシャルビジネス）など、起業家の特性や目的意識に応じたきめ細かな支援を行います。

(2) 起業家のセカンドステップ支援の推進

創業後数年を経た起業家へのフォローアップとして、営業力や経営力の向上を目的とした支援に取り組むことで、課題を解決し、経営の継続を図ります。

(3) 起業家相互の交流によるネットワーク化

起業家同士、あるいは起業家と市内事業者間の交流機会を設け、ネットワーク化の仕組みを整えることで、起業家相互の情報交流や事業意欲の維持向上を図ります。

(4) 既存事業所の経営力向上の促進

市内事業者の経営力向上に向け、金融機関や税理士など専門家のほか、事業者の課題に応じた各種支援機関の紹介を行います。

また、国、府、市、各種支援機関等による支援メニューを網羅的に掲載した冊子を作成及び配布するなど、産業支援情報提供の一本化を図ります。

(5) 商工会議所の持つ相談機能の活用推進

中小企業の持つ経営課題の解決に向けて、高槻商工会議所の持つ相談機能（経営指導員による経営相談、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士などの専門相談員による相談受付）の活用を促し、必要に応じた紹介を行います。

4 観光集客まちづくりプロジェクト

趣旨

平成 23 年度に改訂した「高槻市観光振興計画」に基づき、交流人口や定住人口の増加並びに地域経済の持続的な発展を目指した積極的な取組を展開します。

本市の数ある地域資源を有効活用するため、来訪者のニーズやトレンドを見極めながら「素材の重点化と絞り込み」の考え方に基づき、効果的な情報発信を目指します。

また、民間事業者による魅力ある商品やサービスの創出を促し、「地元にお金が落ちる仕組み」を構築することで、経済の活性化につながる観光ビジネスの促進を図ります。

主要な取組

(1) 観光基盤の整備

観光案内所等の観光基盤の充実を図ります。また、市営バスや地元観光タクシーなどの公共交通機関を活用した観光アクセスの充実や鉄道駅からの 2 次交通の確保など、来訪者を受け入れる基盤を整え市内移動の充実と利便性の向上を図ります。

(2) 情報発信、プロモーション活動の強化

市外への広域的なプロモーション活動を実施することにより、本市の知名度向上と来訪者の増加を図ります。特に交通事業者や広告代理店、旅行代理店等のネットワークやノウハウを有効に活用しながら、マスメディアへの効果的な情報発信を目指します。また、国や府などの施策の活用を図るとともに、広域観光の視点により近隣市の観光資源との連携を図りながら集客事業を展開します。

(3) 魅力ある商品やサービスの開発促進

来訪者のニーズに応えるとともに、観光事業がビジネスとして成立するよう、民間事業者による土産品やメニューの開発を促進します。とりわけ、地元農産品の活用を促進するための農商工連携に努めるとともに、マスメディアへの積極的な話題提供を行うことにより、来訪者増加へとつなげ、事業者の販売促進を支援し、地域経済の活性化を図ります。

(4) 農林業や工業等との連携

高槻森林観光センター、せせらぎの里、二料山荘などの観光関連施設の魅力再生に向けて、関係団体や生産者との連携を図りながら取組を進めます。

また、全国的な知名度を持つ市内の大手企業を始め、伝統産業である「寒天づくり」「酒造り」事業者等との連携により、産業観光の視点から集客素材として活用を図ります。

(5) 市民が主役となった事業モデルの確立

本市にはこれまで、「高槻まつり」「高槻ジャズストリート」「高槻シティハーフマラソン」など、市民有志のボランティアにより企画運営されてきたイベントの実績が数多くあることから、わがまちを盛り上げ、にぎわいにつながる市民活動への支援に努めます。また、観光ボランティアガイドの活用により、観光案内体制の充実を図ります。

5 ものづくり企業高度化支援プロジェクト

趣旨

きめ細かな企業訪問と、産業支援機関の活用、マッチング対象の広域化によるビジネス機会の拡充を図ります。

また、これまでの大学誘致や、「研究開発」の機能を有する企業の比率が高いという市内企業の特長を踏まえ、大学や企業の知的インフラを活かした共同研究開発を促進するとともに、新事業や新商品開発をプロデュースします。

更に、企業の人材育成や社員の能力開発への支援、人材を求める企業と求職者の橋渡しを行うことで、様々な外部環境の変化に適応し、持続的な経営の発展が可能な企業への成長を促します。

主要な取組

(1) 訪問事業とマッチング事業の強化

「ビジネスコーディネーター派遣事業」及び企業間相互の交流による経営力向上を目指す「ものづくり企業交流会」の運営に引き続き取り組むとともに、企業ニーズの把握と情報収集のため市職員による企業訪問を継続して行い、多様なニーズの把握とマッチング機会の拡充を図ります。

(2) 知的インフラを活かした共同研究開発支援の充実

近隣都市との広域連携により「環境・資源・エネルギー分野」及び「医療・介護・健康関連分野」の連携を促進します。また、高槻商工会議所が実施する「産学連携促進事業」を支援することで、企業と研究機関の共同研究等を促進し、研究機関の持つ技術を活かした新たな事業展開の芽を育てます。

(3) 産業支援機関の紹介強化

国や府などの産業支援機関の支援内容について、定期的な情報発信を進めるとともに、産業支援機関を訪問するツアーなどを企画し、市内企業による産業支援機関の有効活用を促進します。

(4) 人材確保と人材育成の支援

産業支援機関と連携し、各団体が実施している研修事業等を通じて、研究開発者や技術者等の効果的な人材育成に向けた支援を行います。また、国、府の労働施策を活用し、人材を求める企業と求職者のマッチングを促します。

6 企業定着・誘致推進プロジェクト

趣旨

既存企業の流出防止に努めるとともに、生活文化都市としての本市の特長と調和した新規企業の誘致に積極的に取り組むことによって、事業所数の増加を目指します。

また、既存企業が生活環境と調和し、安心して操業できる環境づくりを促進します。

主要な取組

(1) 既存企業の流出防止と事業所増設の促進

工業系市街地においては都市計画上の本来の用途を尊重し、関係各課との連携を取りながら、工場の操業環境の維持及び向上を基本とした土地利用を誘導します。

工場と住宅が混在する地域では、工場と住宅が共存できる良好な環境を確保するため、「企業定着促進事業」を始めとした支援操業環境を保全する取組を促進します。

また企業立地促進条例に基づく奨励制度の活用などを通じて、既存企業が行う事業所増設等の設備投資を促進します。

(2) 企業誘致の推進

企業の 신설や撤退動向に高くアンテナを張り、企業立地促進条例に基づく奨励制度を活用しながら企業誘致に努めます。とりわけ、既存企業の課題解決に資する視点や、「環境・資源・エネルギー分野」及び「医療・介護・健康関連分野」など、生活文化都市としての本市の特性と調和した研究開発型の企業の集積について検討し、戦略的に取り組んでいきます。

また、市内外へ向けて、奨励制度の一層の周知を図るとともに、金融機関との土地活用の情報交換、市関係部署を含めた企業誘致体制の強化を図ります。

(3) 操業環境の安全性の向上

災害や事故に強い企業づくりを支援することで、市内企業の操業環境の安全性を向上し、市内企業の定着を図ります。さらに、本市産業全体の安全性を底上げすることで、「災害や事故に強い産業集積」を本市の魅力とし、新たな企業誘致につなげます。

具体的には、市内企業の関心が高いBCP（緊急時企業存続計画又は事業継続計画）について、個々の企業での計画策定にとどまらず、周辺企業との調整も視野にいたした実効性ある計画策定を支援します。また、事故防止など労働安全の向上に向けた助言等も行います。

なお、これらについては、市内に立地する関西大学社会安全学部と連携し、地域一丸となって、広範囲にわたる「安全な操業環境づくり」を目指します。

(4) 職員による定期的・継続的な企業訪問

職員による企業訪問に取り組み、企業の立地動向、企業ニーズの把握と情報収集、行政と企業の良好な関係づくりに努め、企業の立地と定着促進に取り組みます。

(5) 新たな土地利用の検討

新名神高速道路の高槻ジャンクション・インターチェンジについては平成28年度中に供用開始が予定されていることから、周辺沿道における土地利用のポテンシャルの高まりが予想されます。今後、地権者の意向確認を行いながら、沿道の工業系土地利用の可能性について検討します。